

日本史 B(琉球・沖縄史) 年 月 日

____年 ____組 ____番 氏名 _____

原始・古代

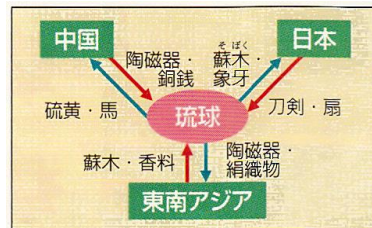
1. 旧石器文化…新人段階の化石人骨である[1]人骨(1968)の発見。
2. [2]文化(11世紀頃まで)…弥生時代に沖縄を含む南島で展開された貝類などの食料採集を行う独特の文化。農業の開始は8~9世紀→11世紀には米や麦などを栽培。
3. 沖縄の歴史史料への登場…『唐大和上東征伝』(淡海三船著)→「阿児奈波」と表記。
※『長門本平家物語』が最初に「おきなわ」と表記。「沖縄」と表記した初例は新井白石の『南島志』である。
4. グスク時代(12~15世紀)…領主を按司、居城はグスクと呼ぶ。
※沖縄に仏教が伝来したのが13世紀後期で英祖王の時代。→察度が新たに王統を開く。
集落の首長：根人→按司に成長。

中世

5. 三山(中山・北山・南山)時代…中山王の察度、初めて明に入貢(1372)。
6. 琉球王国(1429)…中山王の[3]が三山を統一。
 - a. 第1尚氏王朝(1429~1470)…王府：首里、港：那覇。中継貿易により繁栄。
 - b. 第2尚氏王朝(1470~1879)…尚円(内間金丸)により成立。
 - ・尚真王…第2尚王朝3代目の王。中国との貿易を活発にし、奄美諸島から八重山群島まで王国の領域を広げた。
 - ・古代歌謡「[4]」の編纂開始。→16世紀半ばから編纂が始まり、1623年に全22巻が完成。
 - ※万国の津梁…万国をつなぐたよりを意味し、中継貿易で栄えた琉球を象徴する言葉。首里城の正殿の鐘にこの文字の銘文が铸込まれている。→万国津梁之鐘

※琉球の中継貿易が成立した理由

- ① 周辺諸国が鎖国政策をとっていた。
- ② 倭寇の影響のない安全な港をもっていた。
- ③ 周辺諸国との友好関係を維持していた。

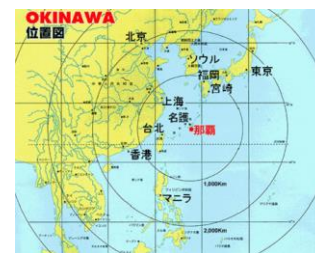


近世…16世紀、ポルトガル人が東アジアに進出することにより、琉球王国は衰退。

7. 江戸時代の琉球
 - a. 島津家久による琉球侵攻(1609)…国王[5]を捕らえる。→与論島以北が薩摩領となる。
 - b. 琉球はその後も明に朝貢を継続(冊封関係)→後に琉球帰属問題に発展。
 - c. 使節の来日…[6](将軍交代毎)、[7](琉球王即位)を江戸に派遣。
 - d. [8]来航(1853)…浦賀来航の2ヶ月前。→琉米修好条約(1854)

近現代

8. 琉球処分…明治政府の沖縄支配
 - a. 日清修好条規(1871)…日清両属の沖縄帰属問題で対立。
 - b. 琉球藩設置(1872)…琉球王国を廃して設置。国王[9]を藩王とし、華族に列した。
 - c. [10](1874)…琉球漁民殺害事件(1871)の報復として。
 - d. 沖縄県設置(1879)…琉球藩を廃して設置。→旧来の人頭税(~1903)を残すなど「旧慣温存」策をとったため、人頭税廃止運動が起こった。
9. 自由民権運動…[11]らが沖縄倶楽部を結成(1899)し、県政糾弾・参政権獲得運動(1912年に参議院議員選挙実施)を進めた。←沖縄県知事奈良原繁により弾圧。
※ブラジル移民…沖縄は飢饉の時に、ソテツの実しか食べるものがない(ソテツ地獄)という貧困から、沖縄移民が多くなった。
10. 米軍の沖縄上陸(1945)…[12](男子中等学校生徒)・ひめゆり隊(女子学生)の戦死、集団自決→日本守備隊玉砕(6月23日)
11. サンフランシスコ平和条約(1951)…アメリカの沖縄統治承認。→琉球政府。
※土地収用令(1953)…アメリカ軍が発した強制的な土地使用法。
12. 沖縄の祖国復帰(1972)…「核ぬき、本土なみ」
 - a. 沖縄県祖国復帰協議会設置(1960)→琉球政府主席を公選し、「即時・無条件・祖国復帰」を公約に掲げた屋良朝苗が当選(1968)
 - b. 日米共同声明(1969)…佐藤栄作・ニクソン会談で沖縄返還合意。
 - c. 沖縄返還協定(1971)…アメリカは施政権を日本に返還したが、軍事基地は改めて使用権を得たので、沖縄県民は強く反発した。



沖縄の位置
沖縄本島から半径2000キロ圏内に、東京・ソウル・北京・マニラなど、東アジアの主要都市が含まれる。



謝花昇(1865~1908)
「沖縄民権運動の父」。「帝王」奈良原知事に立ち向かい、県庁を辞任。「沖縄倶楽部」を設立、沖縄の参政権運動に尽力する。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

日本史 B(琉球・沖縄史) 年 月 日

___年___組___番 氏名_____

原始・古代

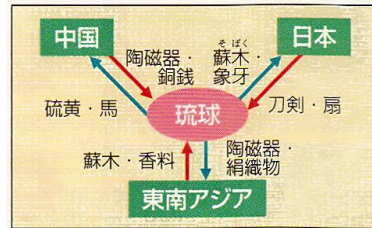
1. 旧石器文化…新人段階の化石人骨である[1]人骨(1968)の発見。
2. [2]文化(11世紀頃まで)…弥生時代に沖縄を含む南島で展開された貝類などの食料採集を行う独特の文化。農業の開始は8~9世紀→11世紀には米や麦などを栽培。
3. 沖縄の歴史史料への登場…『唐大和上東征伝』(淡海三船著)→「阿児奈波」と表記。
※『長門本平家物語』が最初に「おきなわ」と表記。「沖縄」と表記した初例は新井白石の『南島志』である。
4. グスク時代(12~15世紀)…領主を按司、居城はグスクと呼ぶ。
※沖縄に仏教が伝来したのが13世紀後期で英祖王の時代。→察度が新たに王統を開く。
集落の首長：根人→按司に成長。

中世

5. 三山(中山・北山・南山)時代…中山王の察度、初めて明に入貢(1372)。
6. 琉球王国(1429)…中山王の[3]が三山を統一。
 - a. 第1尚氏王朝(1429~1470)…王府：首里、港：那覇。中継貿易により繁栄。
 - b. 第2尚氏王朝(1470~1879)…尚円(内間金丸)により成立。
 - ・尚真王…第2尚王朝3代目の王。中国との貿易を活発にし、奄美諸島から八重山群島まで王国の領域を広げた。
 - ・古代歌謡「[4]」の編纂開始。→16世紀半ばから編纂が始まり、1623年に全22巻が完成。
 - ※万国の津梁…万国をつなぐたよりを意味し、中継貿易で栄えた琉球を象徴する言葉。首里城の正殿の鐘にこの文字の銘文が鑄込まれている。→万国津梁之鐘

※琉球の中継貿易が成立した理由

- ① 周辺諸国が鎖国政策をとっていた。
- ② 倭寇の影響のない安全な港をもっていた。
- ③ 周辺諸国との友好関係を維持していた。

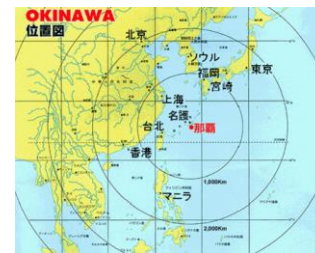


近世…16世紀、ポルトガル人が東アジアに進出することにより、琉球王国は衰退。

7. 江戸時代の琉球
 - a. 島津家久による琉球侵攻(1609)…国王[5]を捕らえる。→与論島以北が薩摩領となる。
 - b. 琉球はその後も明に朝貢を継続(冊封関係)→後に琉球帰属問題に発展。
 - c. 使節の来日…[6](将軍交代毎)、[7](琉球王即位)を江戸に派遣。
 - d. [8]来航(1853)…浦賀来航の2ヶ月前。→琉米修好条約(1854)

近現代

8. 琉球処分…明治政府の沖縄支配
 - a. 日清修好条規(1871)…日清両属の沖縄帰属問題で対立。
 - b. 琉球藩設置(1872)…琉球王国を廃して設置。国王[9]を藩王とし、華族に列した。
 - c. [10](1874)…琉球漁民殺害事件(1871)の報復として。
 - d. 沖縄県設置(1879)…琉球藩を廃して設置。→旧来の人頭税(~1903)を残すなど「旧慣温存」策をとったため、人頭税廃止運動が起こった。
9. 自由民権運動…[11]らが沖縄倶楽部を結成(1899)し、県政糾弾・参政権獲得運動(1912年に参議院議員選挙実施)を進めた。←沖縄県知事奈良原繁により弾圧。
※ブラジル移民…沖縄は飢饉の時に、ソテツの実しか食べるものがない(ソテツ地獄)という貧困から、沖縄移民が多くなった。
10. 米軍の沖縄上陸(1945)…[12](男子中等学校生徒)・ひめゆり隊(女子学生)の戦死、集団自決→日本守備隊玉砕(6月23日)
11. サンフランシスコ平和条約(1951)…アメリカの沖縄統治承認。→琉球政府。
※土地収用令(1953)…アメリカ軍が発した強制的な土地使用法。
12. 沖縄の祖国復帰(1972)…「核ぬき、本土なみ」
 - a. 沖縄県祖国復帰協議会設置(1960)→琉球政府主席を公選し、「即時・無条件・祖国復帰」を公約に掲げた屋良朝苗が当選(1968)
 - b. 日米共同声明(1969)…佐藤栄作・ニクソン会談で沖縄返還合意。
 - c. 沖縄返還協定(1971)…アメリカは施政権を日本に返還したが、軍事基地は改めて使用権を得たので、沖縄県民は強く反発した。



沖縄の位置
沖縄本島から半径2000キロ圏内に、東京・ソウル・北京・マニラなど、東アジアの主要都市が含まれる。



謝花昇(1865~1908)
「沖縄民権運動の父」。「帝王」奈良原知事に立ち向かい、県庁を辞任。「沖縄倶楽部」を設立、沖縄の参政権運動に尽力する。

1	港川	2	貝塚	3	尚巴志
4	おもろそうし	5	尚寧	6	慶賀使
7	謝恩使	8	ペリー	9	尚泰
10	台湾出兵	11	謝花昇	12	鉄血勤皇隊

テーマ史③（琉球沖縄史）